

第2回一関市水道事業経営審議会 次第

日 時：平成27年1月20日(火)

午後2時～4時

場 所：脇田郷浄水場

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 施設見学
- 4 審議
 - (1) 水道事業ビジョンの計画期間について
 - (2) 現『一関市水道ビジョン』に係る取り組み状況を踏まえた論点整理
 - (3) テーマの特出し
 - (4) その他
- 5 その他
- 6 閉会

(1)水道事業ビジョンの計画期間について

①現『一関市水道ビジョン』の計画期間

平成 21 年度から 30 年度の 10 年間

②平成 26 年 3 月 19 日付け健水発 0319 第 4 号「水道事業ビジョンの作成について」における計画期間

国が全国の水道事業者あてに水道事業ビジョンの作成を奨励する通知を出していますが、その中で計画期間について、「水道事業ビジョンは、当面の目標点を策定から概ね 10 年後とし、50 年、100 年先の将来を見据えた当該水道事業の理想像を明示することを基本とする。」と記載されています。

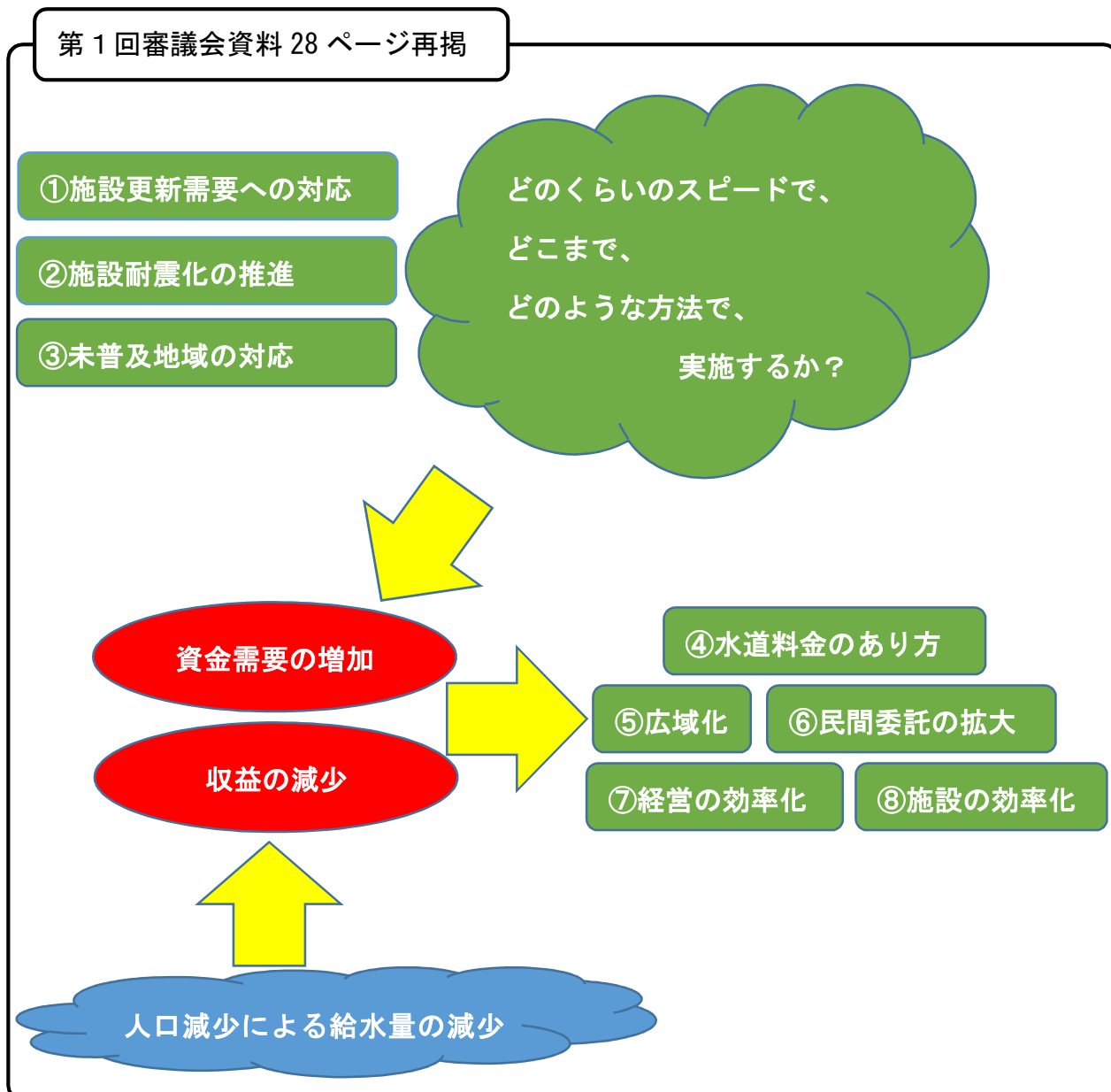
③一関市水道事業ビジョンの計画期間の始期

平成 28 年度としています。

(2) 現『一関市水道ビジョン』に係る取り組み状況を踏まえた論点整理

① 論点整理

- 現一関市水道ビジョンの取り組み状況は、第1回審議会資料23～26ページ参照
- 今後の論点については、第1回審議会資料27ページ参照
- 「現一関市水道ビジョンの取り組み状況」及び「今後の論点」を踏まえると、課題が山積していることがわかりますが、その中でも特に重要な論点を整理すると以下の通りになります。このほかにどのような論点が考えられるでしょうか。



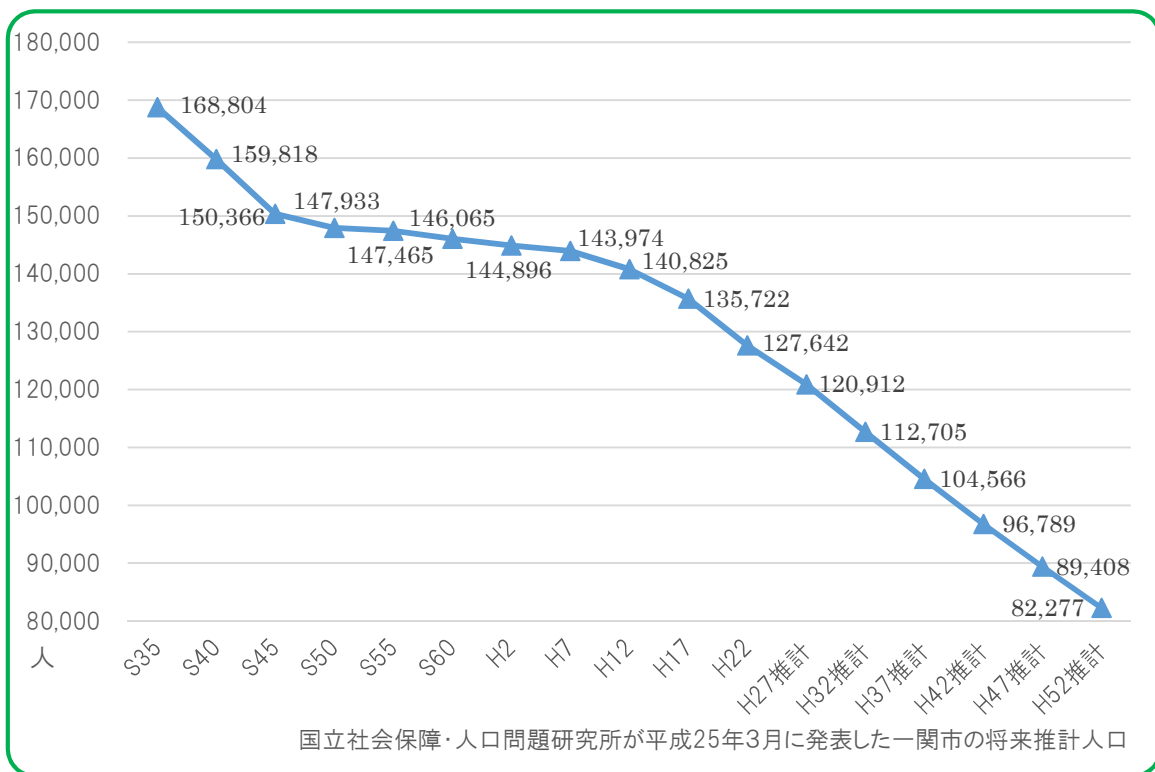
人口減少による給水量の減少に伴って収益の減少が見込まれる中で、①②③の課題に取り組む度合いによっては、同時に④⑤⑥⑦⑧に取り組む必要が生じます。

② 人口減少とそれによる給水量の減少

将来の事業環境の変化として、人口減少による給水量の減少とそれに伴う収益の減少が挙げられますが、一関市の総人口、給水人口、給水量の予測は以下のとおりです。

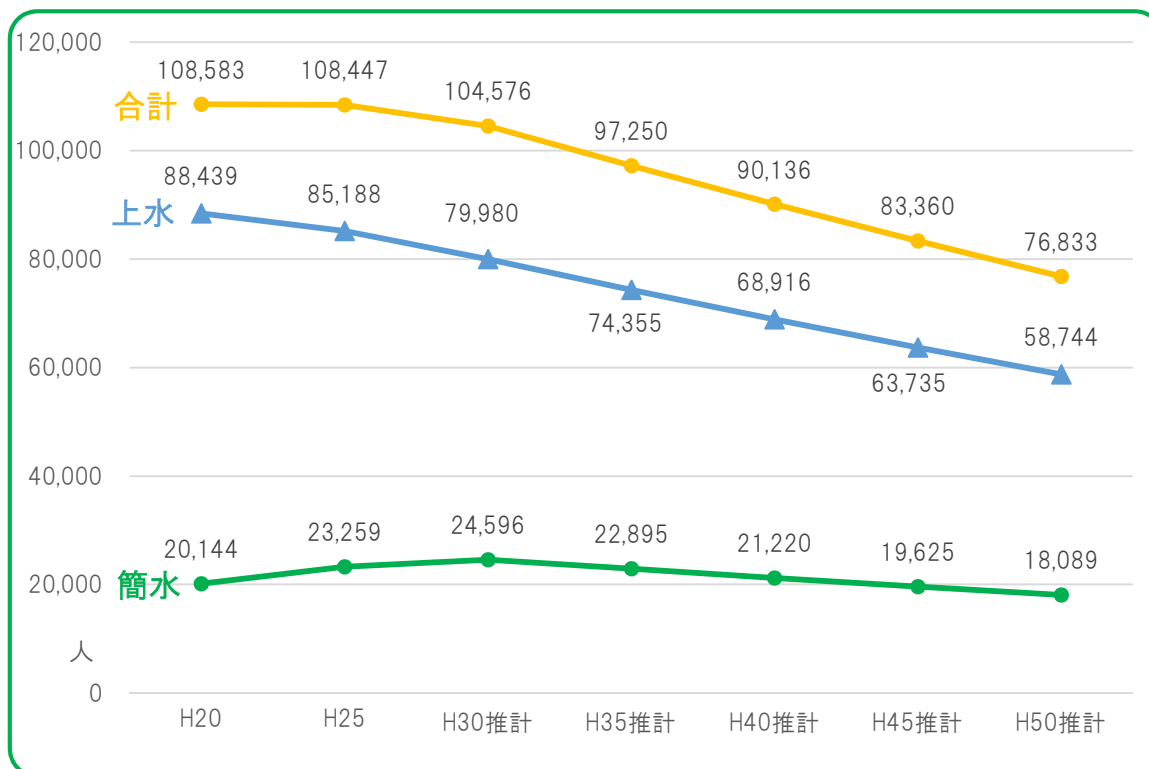
ア 一関市の総人口

平成 22 年度の国勢調査による市の人口は、127,642 人です。過去の人口推移をみると、戦後大きく増加した人口は昭和 30 年代から 40 年代にかけて転出超過となりました。昭和 50 年代からは緩やかな減少が続いており、平成 12 年から平成 22 年の 10 年間では約 1 万 3 千人以上の減少となりました。市の人口のすう勢は、少子化により今後も緩やかに減少を続け、平成 52 年には平成 22 年の 3 分の 2 以下の約 8 万 2 千人まで減少する見込みです。



イ 給水人口

給水人口の予測は、下のグラフのとおりです。平成 25 年度末現在で上水道簡易水道合わせて 108,447 人であった給水人口は、未普及解消事業を行っている簡易水道で若干の増加をみせるものの、人口減少に伴う給水人口の減少が顕著で、平成 50 年には、8 万人弱まで減少すると予測されます。



◆給水人口の見込み方

上水は、未普及解消事業を行っていないことから、平成 25 年度末給水人口に総人口の変化率を乗じて見込みました。

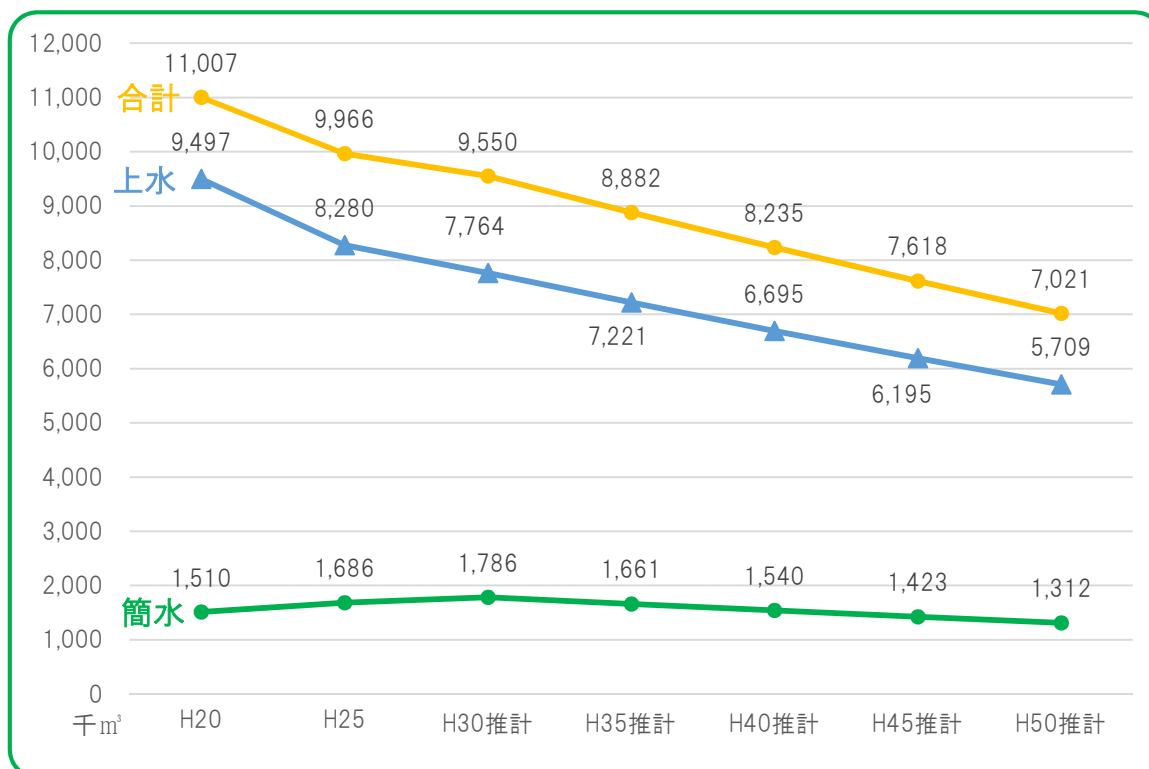
簡水は、平成 28 年度まで未普及解消事業が行われる事業区域があることから、この事業区域については整備が完了する翌々年度まで給水人口の増加があるものとし、その他の区域については、総人口の変化率を乗じて見込みました。

※平泉町上水道及び平泉町長島簡易水道から給水を受ける 1,004 人を除いて見込んでいます。

ウ 給水量

給水量の予測は、下のグラフのとおりです。平成 25 年度末現在で上水道簡易水道合わせて 1 千万 m^3 であった給水量は、未普及解消事業を行っている簡易水道で若干の増加をみせるものの、人口減少による給水人口の減少に伴う給水量の減少が顕著で、平成 50 年度には、約 7 百万 m^3 まで減少すると予測されます。

水道事業は、収入の多少に関わらず必ず発生する固定費が大部分を占める装置産業であることから、給水量にかかわらず事業費用が変動しにくい特性を持つ一方、給水量の減少は直接的に料金収入の減少につながってしまいます。



◆給水量の見込み方

給水量は、気候等の影響を受けるものの基本的に給水人口に連動して変化することから給水人口と同様に以下の見込み方で見込みました。

上水は、未普及解消事業を行っていないことから、平成 25 年度末給水量に総人口の変化率を乗じて見込みました。

簡水は、平成 28 年度まで未普及解消事業が行われる事業区域があることから、この事業区域については整備が完了する翌々年度までは、一定程度の給水人口の増加による給水量の増加があるものとし、その他の区域については、総人口の変化率を乗じて見込みました。

※平泉町上水道及び平泉町長島簡易水道から給水を受ける 1,004 人分を除いて見込んでいます。

(3)テーマの特出し

第3回及び第4回審議会で審議するテーマを決定します。

① _____

② _____

③ _____

④ _____